

芙蓉総合リースと PAL との資本業務提携のお知らせ

～ 物流分野における自動化・省人化の推進を目指す ～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社 PAL（大阪府大阪市、代表取締役 辻有吾、以下「PAL」）との間で資本業務提携（以下、「本提携」）を実施しましたのでお知らせいたします。

物流業界は、労働人口の減少や働き方改革法案によるドライバーの労働時間の上限規制（所謂、物流の2024年問題）へ対応すべく、デジタル化や自動化に向けた投資を実施し、生産性の向上を図ることが急務となっています。

しかし、現状では多くの現場が人手を中心としたアナログな物流環境により運営されており、また、大きな初期投資がネックとなり、自動化に向けた物流機械・設備等の投資が進んでいません。

また、自動化・省人化の実現には、人と機械が協働することが可能なオペレーション、ソフトウェア、機械設計を統合した構想や機能が必要であり、物流機械・設備のみを導入するだけでは期待された効果が発揮できない事例も発生しています。

本提携は、荷主企業への幅広い顧客基盤を有する芙蓉リースと、ロジテックインテグレーター*1として豊富な実績を有する PAL が連携し、物流業界が労働集約産業から装置産業へ移行していく過程で必要となる設備投資を、多様なファイナンススキームを用いてサポートいたします。

物流業界の自動化・省人化を下支えする新たなファイナンスの仕組みを創出し、初期の設備投資負担を減らしたロジテックソリューション*2の着実な実装を進めることで、物流 DX の実現を目指してまいります。



<本提携における主な取り組み>

○ ロジテックソリューションの導入

物流現場におけるデジタル化、自動化をリードし、物流機械やソフトウェア等のロジテックソリューションの設計、開発、実装、運用までを担う

○ 物流分野に向けた新たなファイナンススキームの構築を支援

物流業界の設備投資を支える新たなファイナンススキームにて資金調達を支援

○ データオペレーションの実施

ロジテック導入後も、稼働データを統合管理し、継続的な改善と生産性の向上を図る

○ オープンイノベーションの推進

様々なロジテック領域の事業会社との連携を通じ、共同での開発から実証、現場での運用をスピーディーに取り組む

***1 ロジテックインテグレーター**

ロジテックとは、「物流 × テクノロジー」の組み合わせを意味する造語。物流業務・現場に導入されるロボティクス、ソフトウェア、IoT、AI、システムなど、様々な先端技術を総合して指す。

ロジテックインテグレーターとは、ハードウェア、ソフトウェア共に自社で企画・開発し、現場運用も実施する事業者を指す。

***2 ロジテックソリューション**

物流現場におけるデジタル化、自動化に資する様々な設計、開発、運用等の仕組みを指す。

<芙蓉リースグループについて>

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。また、経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに「モビリティ」を位置付け、車両領域と物流領域を中心に川上戦略を軸とした独自の技術やノウハウを持つパートナーとの連携によるワンストップ型ソリューションを国内外で展開することにより、新たなビジネス領域を拡大してまいります。

<PALについて>

PALは、ロジテックインテグレーターとして、ハードウェア、ソフトウェア、オペレーションの組織的機能を組み合わせ、物流現場のデジタル化、自動化の実現を通じ、お客様のDX推進に取り組んでいます。

以上

本件に関するお問合せ先

芙蓉総合リース株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 （担当）山崎、渡邊

TEL：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>

株式会社PAL 経営企画室 芦田慎作

TEL：06（6534）8998 URL：<https://www.pal-style.co.jp/>